



カーロケーター/350.1MHz対応
バリケードアーム装備 GPSソーラーレーダー探知機

SKY-107SL

*RANAVI catches correctly the equipment
which supervises violation of the maximum speed limit
in a GPS satellite.*

取扱説明書 (A)

初めてお使いになる場合には、14ページを参考にご使用ください。

本機は、安全運転を促進する目的で製造販売されております。
くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。
また警察関係車両が接近した場合、速やかに道をお譲りください。

初めてご使用になる場合には、付属のDCコードを使用して累積で約8時間以上充電をしながらご使用ください。

このたびは、レーナビ・ソーラーをお買上げ頂き、まことに
ありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本機
を正しくお使いください。尚お読みになられた後も、保証書
と共に大切に保管してください。

目次

■ご使用の前に	安全上のご注意	1
	GPS測位について	2
	取締りに関する予備知識	2
	レーナビをご使用になる前に『必ずお読みください』	6
	本機の特長	7
	各部の名称と機能	10
■使ってみよう	取付け方法	12
	使用方法	14
	内蔵バッテリーについて	15
	充電方法	16
■基本操作	電源の入れ方	18
	音量調整	18
	GPS機能について	19
	ハイブリッド型L.S.C.機能	22
	オートパワー機能	23
	レーダー波受信機能	24
	カーロケーター受信機能	26
	350.1MHz受信機能	27
■GPS警告	GPS警告動作	28
	オートトーンダウン機能	30
■Nシステム	Nシステムの警告	31
■便利機能	ユーザーメモリー機能	32
	レーダーキャンセルメモリー機能	34
	GPS警告ポイント消去機能	36
	ミュート機能	37
	オートディマー機能	38
	DC動作モード機能	38
	デモンストレーション機能	39
	本機の全リセット	40
	MEMO	41
■故障かな？と思ったら	故障かな？と思ったら	42
■アフターサービス について	保証について	44
	修理を依頼されるとき	44
	データ更新について	44
	新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの 情報提供のお願い	45
	各地のお問い合わせ窓口一覧	45
■仕様・定格		
■付属品		

ご使用の前に

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
	警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害 [*] の発生の可能性が想定される」内容です。※物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
- この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
- この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

△ 危険

- 本機はDC12V専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
- 走行中に本機の操作をしないでください。
※交通事故の原因となります。
- 医療用電子機器の近くでは使用しないでください。
※ベースメーカーやその他の医療用電子機器に電波による影響を与える恐れがあります。
- 煙が出てる、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。
※発火して火災の原因となります。
- 水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手では絶対に操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。
- 万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

△ 警告

- 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取付けてください。
※誤った取付けは交通事故の原因となります。
- 助手席エアバッグの近くに取付けたり配線したりしないでください。
※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因になります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
※感電やショートによる発火の原因となります。
- 本機は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。
※発熱、火災、ケガの原因となります。
- ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

△ 注意

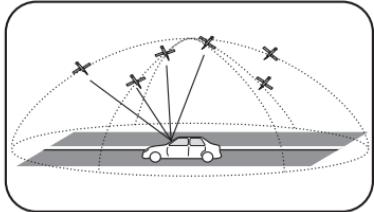
- 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因になります。
- 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本機を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
- お取付けになる車両のウインドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い為にGPS信号やカーロケーター、レーダー波などの受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- 一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本機が鳴り続ける場合があります。
- 本機を取付けている、いないの状態にかかわらず、走行中の速度違反等に関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

ご使用の前に(つづき)

GPS測位について

GPS (Global Positioning System)

GPSとは地球の衛星軌道上にある24個のGPS専用の人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。(GPS測位)この人工衛星は米国国防総省によって管理されており、不定期にGPS測位の精度が高くなったり、低くなったりします。また、衛星の配置も制御されていますので日によって衛星の配置が悪く、測位確定まで時間がかかる場合もあります。



取締りに関する予備知識

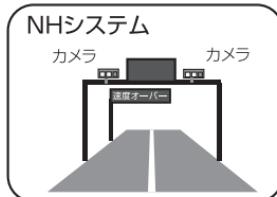
○速度違反の取締方法

1.追尾方式<移動式(有人取締り)>

取締り用車両に、スピードメーターの指針を固定できる「取締り用スピードメーター」を搭載し、対象の車を追走して速度を測定する方式です。

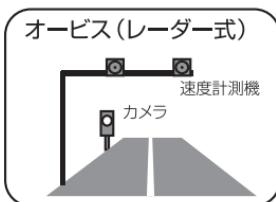
2.次世代取締機「NHシステム」<固定式(無人取締り)>

通行車両をデジタルカメラで撮影しその写真画像のフレームから走行速度を算出する事で速度違反車両を特定します。平成16年5月現在このシステムはNシステムとは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りを行う可能性があるシステムです。



3.レーダー波(マイクロ波)を使用する方式<固定式(無人取締り)>

レーダーにはレーダー波(マイクロ波)と呼ばれる周波数の高い電波が使用されます。電波は周波数が高くなるほど直進性が増して指向性が強くなります。このような、電波は動く物体に反射すると、その周波数を変化させるという特性があり、それをドップラー効果と呼びます。このドップラー効果を利用して走行速度を測定します。



新Hシステムは方式の異なったレーダー波を使用しているため、レーダー警告動作が短くなることがあります。このシステムでは事前に「速度超過」と表示され、速度警告板に表示されます。その警告を無視した違反車両をカメラでデジタル撮影します。

ご使用の前に(つづき)

取締りに関する予備知識(つづき)

4.レーダー波(マイクロ波)を使用する方式<移動式(有人取締り)>

レーダー波(マイクロ波)を走行車両に当て、走行速度を計測し、その車両が速度違反の場合には、車両を停止させ検挙します。

ステルス型の場合は、レーダー波(マイクロ波)の放射時間が短いため、従来型レーダー探知機では瞬間に「ピッ」としかレーダープザー音が鳴りません。しかし、ステルス対応型の探知機では専用のステルスマーカーを使用し、ステルス型取締りに対してお知らせします。

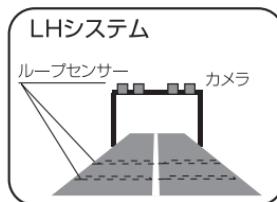
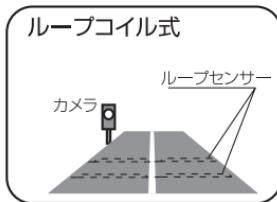


ワンボックス車等に速度取締機を積載し路肩などに駐車して取締りを行います。



5.計測センサーを使用する方式<固定式(無人取締り)>

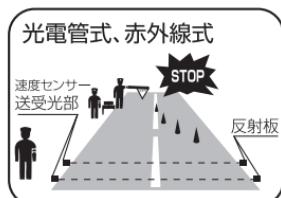
車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。使用されるセンサーにはループセンサーなどがあります。



6.計測センサーを使用する方式<移動式(有人取締り)>

車が一定区間を通過する時間を測定し、その車の走行速度を算出します。使用されるセンサーには光電管式、赤外線式などがあります。

有人取締りで、計測センサーを使用している場合レーダー波を使用せず、また取締りポイントも固定されていない為、事前にお知らせする事ができません。

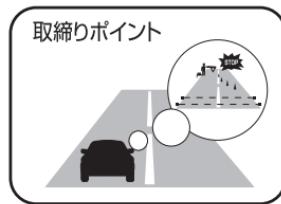


ご使用の前に(つづき)

取締りに関する予備知識(つづき)

○取締りポイントについて

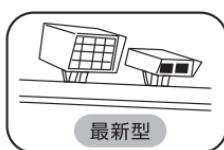
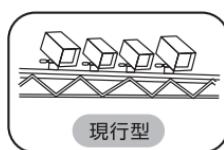
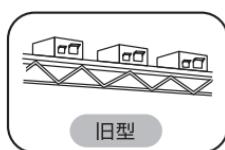
全国各地(高速道、一般道)での追尾式取締り、または移動式取締りや検問が行われていた目撃情報をもとに取締りが行われている可能性の高いエリアを取締りのポイントとして登録しています。そのため、警告があっても取締りが行われていない事や、取締りが行われていても警告がない等もありますので、あらかじめご了承ください。



○Nシステムについて

N-System(Nシステム)とは

「盗難車両の発見・自動車を使用した重要事件における犯人検挙のために利用」する自動車ナンバー読み取り装置。強力赤外線ストロボと高解像度デジタルカメラで車両ナンバーを撮影、その映像をコンピュータで処理し、警察の中央コンピュータに伝送。その伝送されたデータとホストコンピュータのデータとを照合させ、手配中の車両かどうかを確認するシステムです。



○バリケードアラームについて

周囲で検問などを行っている可能性が高いと判断した場合に、バリケードアラームでお知らせします。



ご使用の前に(つづき)

取締りに関する予備知識(つづき)

○カーロケーターについて

カーロケーターシステム(無線自動車動態表示システム)とは

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報を割り出して、センターなどに送信するシステムです。このシステムを利用する事により緊急時などにおいて効率の良い運行管理を行う事ができます。この車両から送信されている電波を受信する事で警察関係車両などの接近を事前に知る事ができます。警察関係車両が接近した場合、速やかに道をお譲りください。

※デジタル通信のため、音声を聞く事はできません。

※一部地域では、カーロケーターシステムが配備されていないまたは、システムが異なるために受信する事ができない場合もあります。

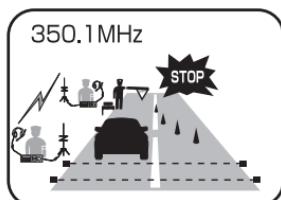
※警察関係車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての警察関係車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。このような場合には警察関係車両の接近をお知らせする事ができません。



○350.1MHzについて

速度取締り現場等で、測定係と停止係の間で使用されている無線です。

この周波数を受信し、交信内容を聞く事ができます。また、速度取締りだけでなく、シートベルトの着用取締りなどでも使用されている場合もあります。



※350.1MHzの受信は、電波の状態等によって受信状態が変わります。

※350.1MHzの受信で、デジタル通信の場合は、音声を聞く事はできません。

※350.1MHzは常に取締りに使用されているわけではありません。本機での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。

※350.1MHzの受信は電波の状態や周辺の環境などにより、受信状態が変わります。

ご使用の前に(つづき)

レーナビをご使用になる前に

《必ずお読みください》

- ※本機を使用している、いないに関わらず、速度違反等に関して弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転を心がけてください。
- ※GPS測位している場合であっても、本機各設定内容によって速度取締機への接近を警告できない場合があります。その場合も、弊社としては一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

GPS警告について

- ※本機は、GPS測位状態で登録・記録済みデータを基に、またはレーダー波、無線電波を受信する事で警告動作を行います。GPS測位していない状態、登録・記録されていないデータ、または各種受信ができない状態では警告動作を行う事ができません。
- ※光電管を使用した有人式の速度取締りが行われている場合、その取締りに対して警告する事ができません。あらかじめご了承ください。
- ※GPS警告ポイントが複数隣接している場合、そのいづれか1地点に対する警告が優先されます。その為、それ以外の地点に対するGPS警告ができない場合があります。

レーダー警告について

- ※一部の自動ドアなど、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本機でレーダー警告を行う場合がありますが、これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- ※設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、本機に登録されていない速度取締機において、レーダー波を使用している種類であってもお知らせする事ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、取締りレーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。特にGPS信号を受信できない状態での走行時にはご注意ください。

内蔵受信機について

- ※受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用する事は、電波法第五十九条により禁じられています。
- ※本機の内蔵受信機は、車載の電装機器（オーディオ、ナビ、ETC、無線機など）や、電源ノイズからの影響により、特定チャンネルを受信し続ける場合があります。

カーロケーターについて

- ※警察関係車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムは全ての警察関係車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。このような場合には警察関係車両の接近をお知らせする事ができません。

350.1MHzについて

- ※350.1MHzは、常に取締りに使用されているわけではありません。本機での受信は350.1MHzが使用され、電波が出ている場合に限られます。

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

ご使用の前に(つづき)

本機の特長

GPS警告

■取締りポイント<登録件数 約800箇所>(ON/OFF機能付き)

検問や頻繁に取締りが行われるエリア、また取締り車両の目撃多発地点を取締りポイントとして登録。取締りポイントの半径約1キロ圏内で、最大3回のアナウンスとランプ表示でお知らせします。

■速度取締機<登録件数 約660箇所>

NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスの速度取締機設置情報を登録。

- 約2キロ手前からの3ステップGPS警告(高速道のみ)

速度取締機の約2キロ手前、約1キロ手前の2回の警告、速度取締機設置位置までのブザー音でGPSによる3ステップ警告を行います。

※一般道、ユーズーメモリーポイントは約1キロ手前からの2ステップGPS警告を行います。

- 速度取締機識別

GPS警告を行う速度取締機の種類を識別し、アナウンスとランプ表示でお知らせします。

- 可変式速度取締機識別

3ステップGPS警告で可変式速度取締機を識別し、アナウンスでお知らせします。

■Nシステム<登録件数 約1650箇所>(ON/OFF機能付き)

自動ナンバー読み取り装置(Nシステム)の設置情報を登録。DCコードの有無に関わらず、約500m手前で、アナウンスとランプ表示でお知らせします。

■道路識別機能

GPS警告時、高速道／一般道の道路種別を識別し、アナウンスとランプ表示でお知らせします。

■トンネル出口速度取締機対応

トンネル出口付近に設置されている速度取締機に対して、トンネルの手前でGPS警告を行います。

■GPS回避ボイス

GPS警告中に、お車の進行方向が警告対象の速度取締機から外れた場合は、アナウンスでお知らせします。

■GPS警告対象道路選択機能

GPS警告の対象道路を、「Hi(高速道路)/Ci(一般道路)/ALL(全て)」の3種類から設定することができます。

無線受信機能

■カーロケーター受信機能(感度2段階切替え機能&ON/OFF機能付き)

警察関係車両に搭載されているカーロケーターシステム(無線自動車動態表示システム)の通信電波を受信します。

- ニアミスマラーム

連続してカーロケーターを受信した場合、緊迫状況であると判断してお知らせします。

- カーロケ受信感度2段階切替え機能

受信感度を「Hi(半径約1キロ)/Lo(半径約500m)」2段階に切替える事ができます。

ご使用の前に(つづき)

本機の特長(つづき)

無線受信機能

■350.1MHz受信機能(ON/OFF機能付き)

取締りの現場で使用されている無線(350.1MHz)を受信し、その音声を聞く事ができます。

■バリケードアラーム

周囲で検問などが行われている可能性が高いと判断した場合にお知らせします。

レーダー波受信機能

■自動距離測定回路内蔵

レーダー波の強さに応じ、5段階でウォーニングランプとブザー音が変化してお知らせします。

■レーダー波受信感度オート切替え機能

レーダー波の受信感度「エクストラ／ウルトラ／スーパー」の3段階を、お車の走行速度に合わせ自動で切替えます。また、受信感度を固定させる事もできます。

■ステルスマルチアラーム

ステルスマルチ速度取締りを識別し、専用のステルスマルチアラームでお知らせします。

便利機能

■ボイスガイド機能

各種設定、各種記録/消去時に、「〇〇を設定しました。」「記録しました。」などと、設定内容等をボイスでお知らせします。

■ボイスアシスト機能

各種無線の受信時に「"ピンポン"」+カーオーラーを受信しました。緊急車両に注意してください。」「受信音声」+350.1メガを受信しました。」などと受信音声やブザー音に加え、ボイスでお知らせします。

■フラッシュモニター

レーダー波を使用しない速度取締機(NHシステム、LHシステム、ループコイル)に対するGPS警告時や、カーオーラー受信、350.1MHz受信時、バリケードアラーム時にフランクシング(点滅)動作をして、注意を促します。またGPSの測位状態も表示します。

■ハイブリッド型L.S.C.（ロー・スピード・キャンセラー）機能

GPS測位中、お車の走行速度30km/hを目安に、低速走行時や停止時の警告ブザー音をキャンセルする機能(L.S.C.)と、お車の振動を利用し、振動を検知していない場合に警告ブザー音をキャンセルする機能(M.S.C.ムービング・スピード・キャンセラー)を融合させた機能です。
※各ランプまたは、アナウンスによる警告は行います。

■オートパワー機能

本機内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中や停止時などの振動を検知していない状態が約2分間以上続くと自動的に電源を切れます。エンジン始動や発進などで再度振動を検知すると自動的に電源が入ります。

■ユーチューバーモリー機能(最大31箇所記録可能)

最大で31箇所のポイントを記録し、GPS警告を行います。(方向識別します)

※ユーチューバーモリーの記録ポイントは、道路識別のない、約1キロ手前からの2ステップGPS警告となります。

ご使用の前に(つづき)

本機の特長(つづき)

便利機能

■GPS警告ポイント消去機能

取締りポイント、速度取締機、Nシステムに対してGPS警告の不要なポイントを記録し、GPS警告を消去することができます。

■レーダーキャンセルメモリー機能

レーダー警告の不要なポイントを最大20箇所まで記録することができます。記録ポイントから半径約200m圏内ではレーダー警告音をキャンセルします。

■オートトーンダウン機能

GPS警告のブザー音やレーダー警告音を、鳴り始めてから約30秒後に、自動的に音量を抑えます。

■オートディマー機能

夜間などのソーラーパネルに当たる太陽光が少ない時には、自動でランプの点灯を暗くします。

■ミュート機能<レーダー波/カーロケーター>

各受信機の受信動作中に、警告音やアナウンスなどをミュート(消音)します。

■デモンストレーション機能

本機、警告動作などのデモンストレーションを行います。

■内蔵バッテリー残量表示機能

内蔵バッテリーの残量を「バッテリーランプ」で表示します。内蔵バッテリーの残量が少なくなると、全機能が停止し「充電をしてください。」とアナウンスします。

■DC動作モード機能

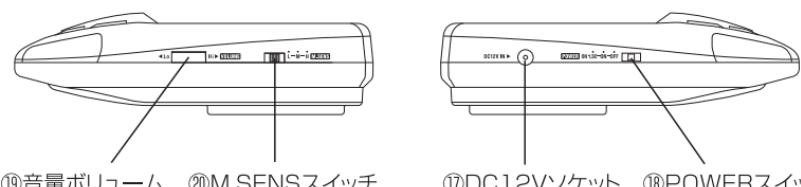
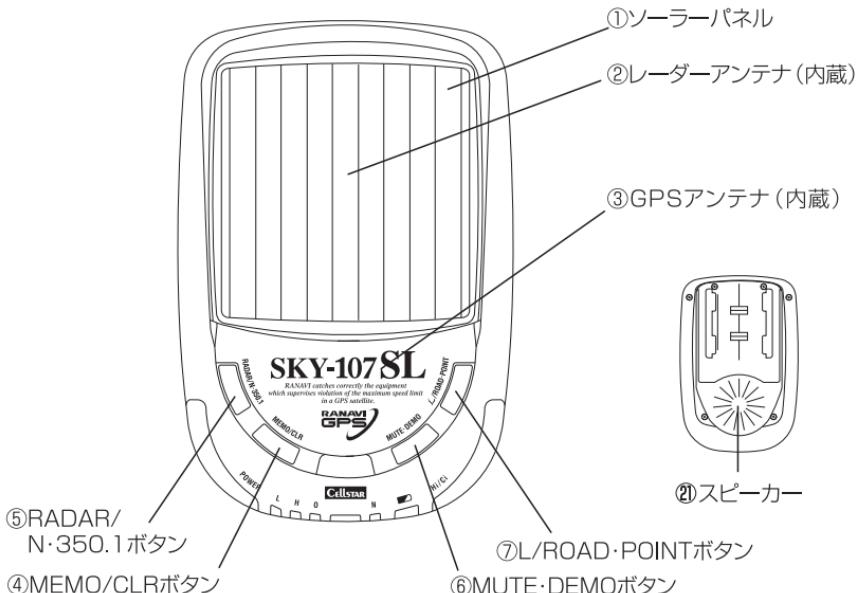
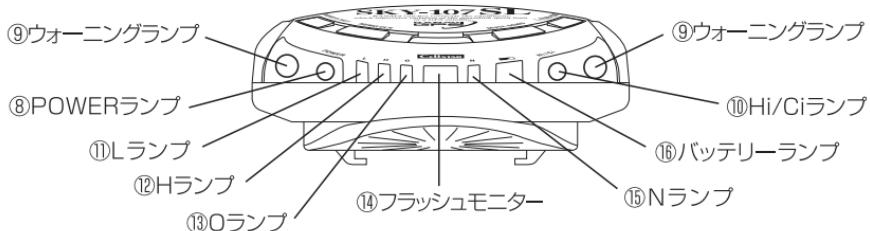
DCコード使用して本機をお使いの場合、DC12Vの入力有無により電源を「ON/OFF」します。

■DC12V入力モニタリング機能

DCコード接続時、DC12Vが入力されているかどうかを「バッテリーランプ」で表示します。

ご使用の前に(つづき)

各部の名称と機能



ご使用の前に(つづき)

各部の名称と機能(つづき)

①ソーラーパネル

太陽光を受けて発電し、内蔵バッテリーを充電します。

②レーダーアンテナ

レーダー波を受信します。

③GPSアンテナ(内蔵)

GPS衛星からの信号を受信します。

④MEMO/CLRボタン <32、33、36、40ページ>

ユーチューメモリー機能や、GPS警告ポイント消去機能を使用する時に操作します。

⑤RADAR/N・350.1ボタン <24、27、31、35、38ページ>

レーダー波受信感度切替えや350.1MHz受信、Nシステム警告、DC動作モードのON/OFF切替え時に操作します。

⑥MUTE・DEMOボタン <18、34、36、37、39、40ページ>

ミュート機能、レーダーキャンセルメモリー機能の操作時や、デモンストレーション機能を使用する時に操作します。

⑦L/ROAD・POINTボタン <20、21、26、38ページ>

GPS機能、DC動作モードのON/OFF切替え、カーロケーター受信感度の切替えや、GPS警告対象道路選択機能を使用する時に操作します。

⑧POWERランプ <18、22、23、24、35ページ>

電源のON/OFF状態や、ハイブリッド型L.S.C.機能の動作状況、レーダー波受信感度を表示します。

⑨ウォーニングランプ <25、28、29ページ>

レーダー警告の場合には、レーダー波の強さを表示し、GPS警告時には取締機までの距離により表示します。

⑩Hi/Ciランプ <18、20、21、28、29、31、33ページ>

GPS警告の対象道路を表示します。また、GPS機能の「ON/OFF」状態を表示します。

⑪Lランプ <28、29、36ページ>

LHシステム、ループコイルに対してのGPS警告時に点滅します。

⑫Hランプ <28、29、36ページ>

NHシステム、LHシステム、新NHシステムに対してのGPS警告時に点滅します。

⑬Oランプ <28、29、36ページ>

レーダー式オービスに対してのGPS警告時に点滅します。

⑭フラッシュモニター <18、20、21、24、26、27、28、29ページ>

GPSの測位状態の表示、LHシステムやループコイルに対してのGPS警告時、カーロケーター受信、350.1MHz受信時、パリケードアラーム時に点滅します。

⑮Nランプ <28、29、31、36ページ>

NHシステム、Nシステムに対してのGPS警告時に点滅します。

⑯バッテリーランプ <17ページ>

内蔵バッテリーの電圧状態、DCコードによる充電中であるかどうかを表示します。

⑰DC12Vソケット <14、16ページ>

DCコードを接続し、DC12Vを本機に入力します。

⑱POWERスイッチ <14、16、18、20、22、23、33、35、36、38、40ページ>

電源のON/OFFを行う時、L.S.C.のON/OFF切替え時に操作します。

⑲音量ボリューム <18ページ>

警告音やアナウンスの音量を調整します。

⑳MSENSスイッチ <22、23ページ>

内蔵のムービングセンサーの感度を調整します。

㉑スピーカー

GPS警告のアナウンス、ブザー音などが鳴ります。

使ってみよう

使ってみよう

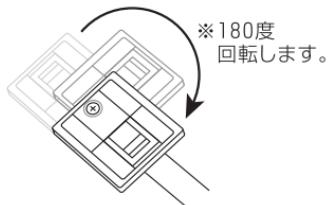
取付け方法

取付け方法

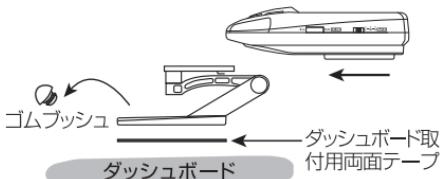
○マウントベースの取付け

●ダッシュボードへの取付け時

- ①マウントベースの本機取付部を
180度回転し、本機に取付けます。

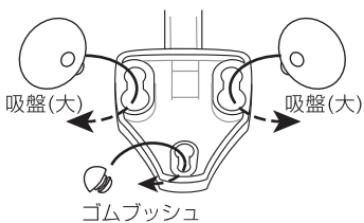


- ②マウントベースからゴムブッシュを取り、
ダッシュボード取付用両面テープを使用
してお車のダッシュボードへ取付けます。

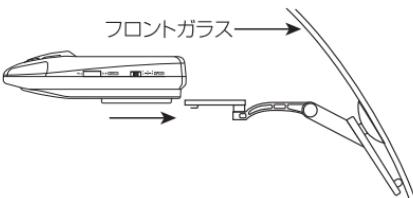


●フロントガラスへの取付け時

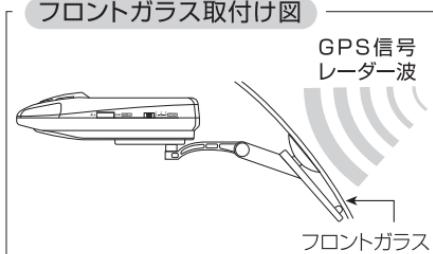
- ①マウントベースに吸盤(大)と
ゴムブッシュを取り付けます。



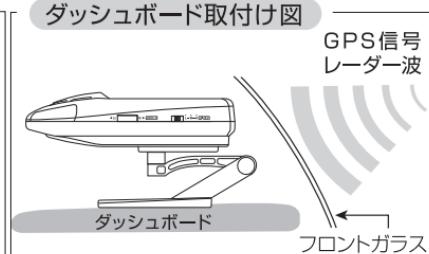
- ②マウントベースに本機を接続し、
お車のフロントガラスへ取付けます。



フロントガラス取付け図



ダッシュボード取付け図



注
意

フロントガラスの湾曲のきつい部分への取付けはおやめください。
内蔵ムービングセンサーの振動検知がしにくくなったり、不安定な取付けにより、本体が落下して思わぬ事故やケガの原因になります。

使ってみよう(つづき)

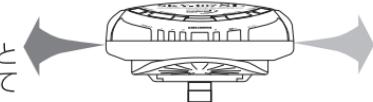
取付け方法(つづき)

○取付け角度の調整

左右の角度調整

マウントベースを本体に取付けてから本体ごとマウントベースを左右に回して角度調整してください。

※ネジがゆるんだ場合は、プラスドライバーで締めてください。



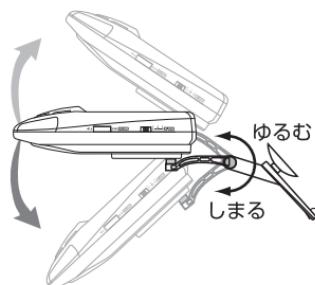
上下の角度調整

上下角度調整ネジをゆるめてお好みの位置を決めたら、上下角度調整ネジを締めて、固定してください。

※片方のネジを固定し、もう一方のネジを回してください。

※本機を道路に対して水平になるように調整してください。

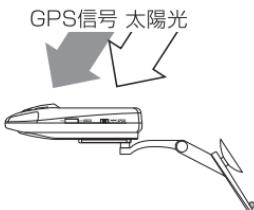
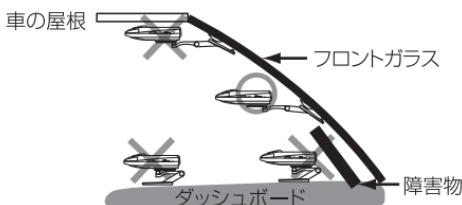
※太陽光の角度により、表示ランプが見えにくい場合があります。



○取付け時の注意事項

レーナビ・ソーラーは上空からのGPS信号受信と前後方からのレーダー波を受信して警告します。

また、ソーラーパネルによる充電機能を備えています。その為、本機の上や前(車の進行方向)などに、金属などの障害となるものが無いようにお取付けください。



注
意

お取付けになる車両のウインドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低い為にGPS信号やカーロケーター、レーダー波などの受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は、車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。



注
意

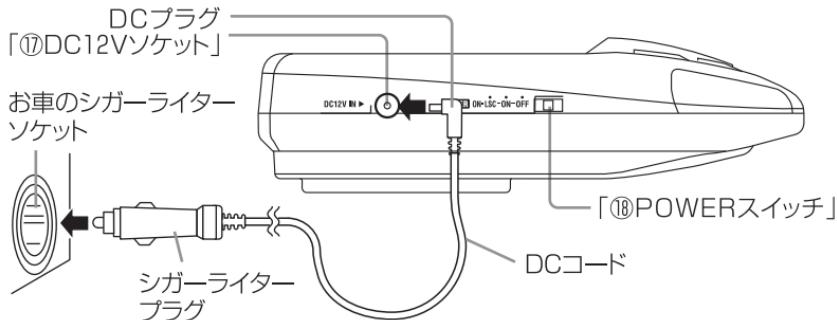
運転や視界の妨げにならない所、エアバッグの近くまたは自動車の機能(ハンドル、ブレーキ)の妨げにならない所へお取付けください。誤った取付けは交通事故の原因となります。

使ってみよう(つづき)

使ってみよう

使用方法

使用方法



1.DCコードを接続してください。

DCコードのプラグ部分を「⑦DC12Vソケット」へ接続してください。

初めてご使用になる時は、付属のDCコードを使用して累積で約8時間以上充電しながらご使用ください。

詳細 充電方法(16ページへ)

2.電源を入れてください。

「⑧POWERスイッチ」を「OFF」から「ON」または「ON・LSC」の位置にしてください。

3.走り出す前に。

電源を入れた後、GPS測位が確定するまで、しばらくお待ちください。GPS測位が確定したら、**準備完了です**。測位すると「"ピンポーン" GPSを測位しました。」とアナウンスします。

※GPS測位が確定するまでは「⑧POWERスイッチ」を「ON」の位置に設定する事をおすすめいたします。

詳細 ハイブリッド型L.S.C.機能(22ページへ)

電源が入ると、この状態から動作します。お買い求め頂いた時、各種設定は工場出荷状態になっています。

詳細 本機の全リセット方法(40ページへ)

工場出荷状態

GPS機能	ON
取締りポイントの警告	ON
Nシステムの警告	ON
GPS警告対象道路機能	ALL
レーダー波受信感度	オート

カーロケーター受信	ON
カーロケーター受信感度	Hi
350.1MHz受信	ON
DC動作モード機能	OFF
その他記録データ	消去

使ってみよう(つづき)

内蔵バッテリーについて

本機は、DC12V入力または内蔵バッテリーを電源として動作いたしますが、特に内蔵バッテリー(コードレス)での使用の際は、いくつかの注意点があります。それらをよく理解の上、ご使用ください。

○使用上の注意点



本機は内蔵バッテリー満充電で、連続最大約80時間のコードレス使用を実現していますが、これは最も少ない消費電流で動作している場合に限られます。実際の使用環境により、80時間使用できない場合があります。あらかじめご了承ください。



初めてお使いになる場合には、必ずDCコードを接続し充電をしながら使用してください。充電時間の目安は累積で約8時間です。

※必ず「⑩POWERスイッチ」を「ON・LSC」にしてオートパワー機能が働く状態でご使用ください。
使用例：1時間充電×8回



本機は、さまざまな省電力対策を施しておりますが、GPS測位時に多量の電気を消費します。内蔵バッテリーの電圧がある一定値以下になると内蔵バッテリー保護のため、全機能が強制的に停止しますので、ご注意ください。



ソーラーパネルからの充電は、あくまで補助的な充電です。レーナビ動作の頻度が高い地域、または降雪地域などの冬期にソーラーパネルからの充電ができなくなるなど、思った以上に早く内蔵バッテリーが消耗する場合がありますので、ご注意ください。



ソーラーパネルの発電能力は、天候、取付け場所によって大きく左右されます。曇りや雨または、降雪時などは、発電されませんので、DCコードを接続して使用してください。

※本機を長期間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまう場合があります。その場合、GPS測位の各種データは消去され、次回の使用時、GPS測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。

※長時間ご使用にならない場合、必ず「⑩POWERスイッチ」を「OFF」にしてください。

※内蔵バッテリーには寿命があります。充電が十分にできなくなってきたら新しいものと交換してください。(使用状況にもよりますが目安は約3年です。)また、内蔵バッテリーの交換については、お買い上げの販売店または、最寄のお客様相談窓口、カスタマーセンターにお問い合わせください。

※フロントガラスに着色してある、または特殊加工してある車種の場合、ソーラー充電効率が低下して内蔵バッテリーの消耗が早くなります。

※内蔵バッテリーの消耗が激しいときには、DCコードの使用をおすすめします。

※シガーライタープラグ内部のヒューズが切れた場合は新しいヒューズ(1A)に交換してください。

※一部の車種においては、シガーライタープラグの形状が合わないことがあります。

使ってみよう(つづき)

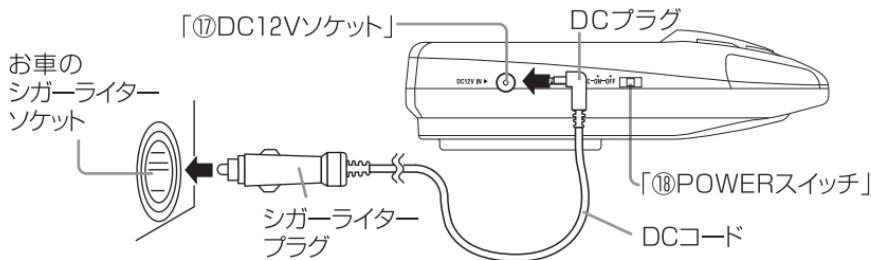
充電方法

○DCコードからの充電方法

初めてお使いになる場合や、バッテリーの充電が必要な状態になった場合は必ずこのDCコードを使用して、充電を行ってください。

DCコードのシガーライタープラグをお車のシガーライターソケットに接続させてください。

*必ず「⑩POWERスイッチ」を「ON・LSC」にして、オートパワー機能が働く状態で充電を行ってください。または、DC動作モードを「ON」に設定してご使用ください。



*DCコードからの充電時間の目安は累積で約8時間です。

*DCコードからの充電は、「⑩POWERスイッチ」が「OFF」の場合でも充電できます。ただし、お車のエンジンがかかっている場合に限られます。(一部車種除く)

充電を十分にした後は、DCコードを抜いてコードレスでもご使用いただけます。



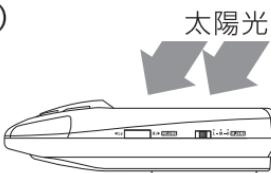
注 意 DCコードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DCコードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。あらかじめご了承ください。



注 意 DCコード使用時にお車のキーが「OFF」になつても本機の電源は内蔵バッテリーに切替りますので電源は切れません。必ずオートパワー機能を「ON」にした状態か、またはDC動作モード機能「ON」でご使用ください。

○ソーラーパネルでの充電方法(補充電)

ソーラーパネルに直接太陽光が当るように取付け位置を調整してください。



*ソーラーパネルでの充電は、「⑩POWERスイッチ」が「OFF」の場合でも行われます。

*夜間、雨天曇りの日は太陽光が弱いため、ソーラーパネルでの充電は行われません。

*満充電後は、まったく充電されない状態でも最大80時間連続使用(最小消費電力動作時)ができますが、使用条件や環境などで使用時間が短くなりますのでご注意ください。

使ってみよう(つづき)

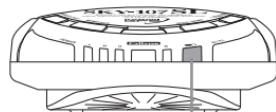
充電方法(つづき)

○DC12V入力モニタリング機能

DCコード使用時、DC12Vが入力されているかどうかを「⑯バッテリーランプ」で表示します。

DC12Vが入力されている場合「⑯バッテリーランプ」が赤色に点灯し、DC12V入力が切れている場合は点滅、または消灯します。

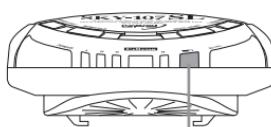
*DC12V入力時には、内蔵バッテリーの残量を表示できません。



「⑯バッテリーランプ」

○内蔵バッテリーの残量確認方法

電源が入ると「⑯バッテリーランプ」とブザー音で、内蔵バッテリーの残量をお知らせします。



「⑯バッテリーランプ」

「⑯バッテリーランプ」	ブザー音	内蔵バッテリーの残量
消灯	「ピッ」	満充電～約1/2(使用可能)
	「ブブッ」	約1/2～要充電(使用可能)
	「ブブブッ」	要充電(使用可能)
赤色点滅	「ブブブッ」	要充電(全機能強制停止)
消灯	無音	要充電(全機能強制停止)
赤色点灯	「ピッ」	充電中(DC12V入力)

内蔵バッテリーの残量が低下すると「⑯バッテリーランプ」が赤色点滅し、「充電をしてください。」と約60秒毎にアナウンスします。この状態になると全機能強制停止になりますので、DCコードを使用して充電しながらご使用ください。



注意

バッテリーランプが赤色の点滅になった場合、各種設定や記録は保護されています。



注意

本機を長時間使用せずに放置すると、内蔵バッテリーが空になってしまい場合があります。その場合、各種設定や記録は消去され、工場出荷状態にもどる場合がありますので、ご注意ください。

基本操作

電源の入れ方

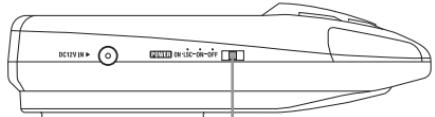
○電源を入れる

「⑧POWERスイッチ」を「ON」または「ON・LSC」の位置にして本機の電源を入れてください。

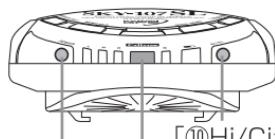
「ON」にすると電源が入り、「ON・LSC」にするとL.S.C.機能が働きます。

詳細 ➤ ハイブリッド型L.S.C.機能(22ページへ)

POWER ON-LSC-ON-OFF



「⑧POWERスイッチ」



「⑩Hi/Ciランプ」
「⑯フラッシュモニター」
「⑧POWERランプ」

電源が入ると、バッテリーの残量をお知らせするブザー音が鳴り「⑧POWERランプ」「⑩Hi/Ciランプ」「⑯フラッシュモニター」が点滅します。

※DCコードで充電時は「⑩バッテリーランプ」が点灯します。

※GPS機能「OFF」に設定の場合は「⑩Hi/Ciランプ」が消灯します。

音量調整

「⑥MUTE・DEMOボタン」を押してデモンストレーションを行います。音が出ている間に「⑯音量ボリューム」を回して音量を調整してください。

詳細 ➤ デモンストレーション機能(39ページへ)

音量小 ← → 音量大



「⑥MUTE・DEMOボタン」



「⑯音量ボリューム」

基本操作(つづき)

GPS機能について

GPS機能を「ON」に設定すると、GPS信号を受信(GPS測位)し本機に登録されている取締りポイントや各種速度取締機、Nシステムの位置データを利用した機能などが使用できます。

○取締りポイントに対してのGPS警告

※取締りポイントの約1キロ圏内で最大3回お知らせします。

○速度取締機NHシステム、LHシステム、ループコイル、新Hシステム、オービスに対しての3ステップGPS警告

※一般道は2ステップGPS警告となります。

※速度取締機に対する警告は、距離・設置道路・可変式・速度取締機種別を識別します。

○Nシステムに対してのGPS警告

○トンネル出口速度取締機の警告

○GPS回避ボイス

○ハイブリッド型L.S.C.機能

○レーダー波受信感度オート切替え機能

○ユーチャーメモリー機能

○レーダーキャンセルメモリー機能

○GPS警告ポイント消去機能

○GPS警告対象道路選択機能



注 お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合。



GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが(約15分程度)これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位が確定すると「GPSが測位しました。」とお知らせします。



注 トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなど

ではGPS測位しにくくなりますので、ご注意ください。



注 GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。



注 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機のGPS測位ができなくなる場合があります。

これは故障や不良ではありません。あらかじめご了承ください。

基本操作(つづき)

GPS機能について(つづき)

○GPS機能の設定方法

GPS機能のON/OFF操作は「⑩POWERスイッチ」と「⑦L/ROAD・POINTボタン」で行います。

1. 「⑦L/ROAD・POINTボタン」を押したまま「⑩POWERスイッチ」を「OFF」から「ON」(または「ON・LSC」)にします。



2. 電源が入り、設定のアナウンスをしたら「⑦L/ROAD・POINTボタン」を離してください。

「GPSを設定しました。」→GPS機能ON
「GPSを解除しました。」→GPS機能OFF

※設定を行うたびにGPS機能は ON↔OFFと切り替わります。

※工場出荷時は「ON」に設定されています。

また「⑩Hi/Ciランプ」で設定内容が確認できます。

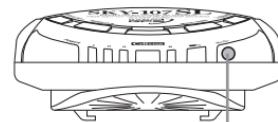
「⑩Hi/Ciランプ」	GPS機能
点滅	「ON」
消灯	「OFF」



「⑦L/ROAD・POINTボタン」



「⑩POWERスイッチ」

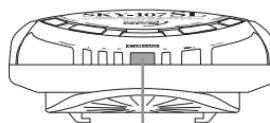


「⑩Hi/Ciランプ」

○GPS測位の確認方法

GPS測位の確認方法は「⑪フラッシュモニター」で行います。またGPS測位が確定すると「"ピンポーン" GPSを測位しました。」とアナウンスします。
※GPS機能を「ON」に設定している場合に限ります。

「⑪フラッシュモニター」	GPS測位状態
2回点滅	サーチ中、測位不可
消灯	測位中



「⑪フラッシュモニター」

※LHシステム、ループコイル、カーロケーターに対する警告時、「⑪フラッシュモニター」は、(速い)点滅になります。

基本操作(つづき)

GPS機能について(つづき)

○GPS警告対象道路選択機能の設定方法

対象道路設定をする事で、高速道または一般道の取締機にだけ警告を行う事ができます。

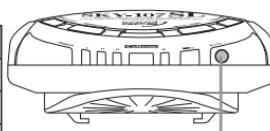
対象道路の設定方法は「⑦L/ROAD・POINTボタン」で行います。
※GPS機能を「ON」に設定している場合に限ります。

- 「⑦L/ROAD・POINTボタン」を「ピピッ」と鳴るまで約2秒間押すと、現在の設定状態を「⑩Hi/Ciランプ」で表示します。
- 「⑩Hi/Ciランプ」で約3秒間の表示中に「⑦L/ROAD・POINTボタン」を押して設定を切り替えます。押すたびにランプの表示が変わり、「⑦L/ROAD・POINTボタン」約3秒後に設定状態をアナウンスします。

「⑩Hi/Ciランプ」	設定状態	ボイスガイド
橙色点灯	AII(全て)	「オールモードです」
赤色点灯	Hi(高速道)	「ハイウェイモードです」
緑色点灯	Ci(一般道)	「シティモードです」

※設定が終了すると、「⑩Hi/Ciランプ」は点滅になります。

※工場出荷時は「ALL」に設定されています。



「⑩Hi/Ciランプ」

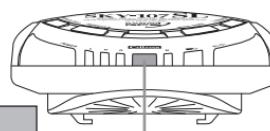
○取締りポイントの「ON／OFF」設定方法

取締りポイントに対する警告の設定方法は「⑦L/ROAD・POINTボタン」で行います。

※GPS機能を「ON」に設定している場合に限ります。

- 「⑦L/ROAD・POINTボタン」を「ピーピッ」と鳴るまで約5秒間押すと、現在の設定状態を「⑭フラッシュモニター」で表示します。

- 「⑭フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑦L/ROAD・POINTボタン」を押して設定を切り替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定音でお知らせします。



「⑭フラッシュモニター」

「⑭フラッシュモニター」	設定状態	設定音
点灯	ON	"♪ドレミファソラシド"
点滅	OFF	"♪ドシラソファミレド"

基本操作(つづき)

ハイブリッド型L.S.C.機能

○ハイブリッド型L.S.C.機能の設定方法

お車が低速走行時や停止時などに、警告ブザー音をミュート(消音)する事ができます。

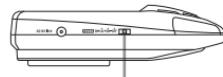
※GPS測位状態ではお車の走行速度約30km/h以下の状態、GPS測位していない状態ではお車の振動が少ない状態の時に、警告ブザー音をミュート(消音)します。

GPS警告対象道路が「Hi(高速道)」の場合は、約50Km/h以下でミュートします。

ハイブリッド型L.S.C.機能のON/OFFは「⑩POWERスイッチ」で行い「⑩M.SENSスイッチ」で内蔵のムービングセンサー感度設定を行います。

1.「⑩POWERスイッチ」を「ON」から「ON·LSC」、「ON·LSC」から「ON」とスライドすると、設定内容をアナウンスします。

※電源が入った直後は、設定をアナウンスしません。

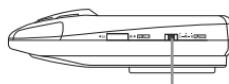


「⑩POWERスイッチ」

「⑩POWERスイッチ」	ハイブリッド型L.S.C.機能	ボイスガイド
ON·LSC	「ON」	「LSCを設定しました。」
ON	「OFF」	「LSCを解除しました。」

2.下記「⑩M.SENSスイッチ」の設定の目安を参考に「⑩M.SENSスイッチ」を設定します。

「⑩M.SENSスイッチ」の設定の目安
L………振動の多い車(低感度)
M………標準設定位置
H………振動の少ない車(高感度)



「⑩M.SENSスイッチ」

ムービングセンサーの感度設定確認方法

はじめに「⑩M.SENSスイッチ」を「M」の位置にした状態で行います。

①GPS機能を「OFF」にしてください。

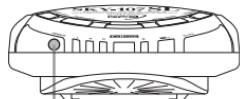


GPS機能の設定方法(20ページへ)

②お車が、アイドリング状態(停止中)に「⑧POWERランプ」が赤色点滅することを確認してください。緑色点滅の場合には「⑩M.SENSスイッチ」を「L」に設定してください。

③アイドリング状態(停止中)から走行状態になった時「⑧POWERランプ」が緑色点滅に変化したことを確認してください。赤色点滅のままの場合は「⑩M.SENSスイッチ」を「H」に設定してください。

④GPS機能を「ON」にしてください。



「⑧POWERランプ」

基本操作(つづき)

ハイブリッド型L.S.C.機能(つづき)

○ハイブリッド型L.S.C.機能の動作確認方法

ハイブリッド型L.S.C.機能の動作状態は「⑧POWERランプ」で表示します。

お車の状態	【⑧POWERランプ】
約30km/h以上の走行時	緑色点滅
約30km/h以下の低速走行・停止時	赤色点滅
ハイブリッド型L.S.C.機能「OFF」	橙色点滅



※GPS警告対象道路が「Hi(高速道)」の場合は、約50Km/h以下で「赤色」、約50Km/h以上で「緑色」の点滅となります。

オートパワー機能

本機内蔵のムービングセンサーを利用して、お車が駐車中などの振動の少ない状態が約2分間以上続いた時に自動的に電源を切れます。エンジン始動や発進などで再度連続的な振動を検知すると自動的に電源が入ります。

※オートパワー機能で電源を入れる場合、エンジン始動やお車の走行など、連続的な振動が必要です。短時間の振動では電源が入らない場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

○オートパワー機能の設定方法

オートパワー機能のON/OFFは「⑩POWERスイッチ」で行い、「⑩M.SENSスイッチ」で感度設定を行います。

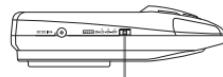
※ムービングセンサーの感度設定はハイブリッド型L.S.C.機能を参照してください。

詳細 → ハイブリッド型L.S.C.機能(22ページへ)

「⑩POWERスイッチ」を「ON・LSC」の位置にします。

※ハイブリッド型L.S.C.機能も「ON」に設定されます。

「⑩POWERスイッチ」が「ON」の位置の場合、オートパワー機能は「OFF」になります。



「⑩POWERスイッチ」



お車を駐車する周囲に、工事現場や幹線道路がある場合など、周辺の振動や騒音を検出し、オートパワー機能で電源が切れない場合があります。使用しない場合には「⑩POWERスイッチ」で電源を切ってください。

レーダー波受信機能

レーダー波を受信して、速度取締機などへの接近をお知らせします。

○レーダー波受信方法

本機の電源が入るとレーダー波受信可能です。

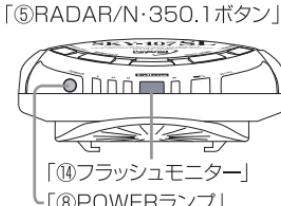
○レーダー波受信感度切替え方法

レーダー波受信感度を、「エクストラ」、「ウルトラ」、「スーパー」で3段階に設定できます。また、3つの感度をお車の走行速度に合わせて自動で切り替える「オート」を選択することができます。

レーダー波受信の感度設定方法は「⑤RADAR/Nボタン・350.1ボタン」で行います。

1. 「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を押します。
「ピッ」と鳴り「⑪フラッシュモニター」で現在の設定を表示します。

2. 「⑪フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を押して設定を切り替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。



また「⑧POWERランプ」で設定状態が確認できます。

「⑪フラッシュモニター」	「⑧POWERランプ」	設定状態	ボイスガイド	感度
点灯	速度に応じて	オート	「♪ドミン」	自動
速い点滅	3回点滅	エクストラ	「エクストラモードです」	高
2回点滅	2回点滅	ウルトラ	「ウルトラモードです」	中
ゆっくりな点滅	1回点滅	スーパー	「スーパーモードです」	低

※「オート」のボイスガイドはメロディになります。

※工場出荷時は「オート」に設定されています。

《「オート」の動作》

お車の状態	感度	「⑧POWERランプ」
約50km/h以上	エクストラ	3回点滅
約30~50km/h	ウルトラ	2回点滅
約30km/h以下	スーパー	1回点滅

※「オート」の動作は、GPSが測位中に限ります。

※GPS機能「OFF」や、GPSが測位できない状態では、「スーパー」の感度になります。

基本操作(つづき)

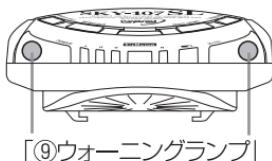
レーダー波受信機能(つづき)

○レーダー警告

レーダー式オービス、新Hシステム、ネズミ捕り(レーダー式)、ステルスなどのレーダー波を受信して、お知らせします。

レーダー波を受信すると、レーダー波の強さに応じて、ブザー音が鳴り、合わせて「⑨ウォーニングランプ」が点滅をします。

*ブザー音は、レーダー波を受信すると約30秒後に音が小さくなります。



詳細 オートトーンダウン機能(30ページへ)

《ブザー音》

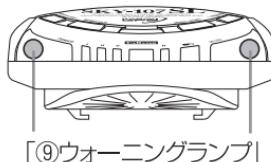
”ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ・ピッ・ピッピッピッピッピ…”

レーダー波が弱い —————→ レーダー波が強い

○ステルスマード

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルスマードとして識別し専用のブザー音と「⑨ウォーニングランプ」が点滅し、お知らせします。

*ステルスマードは、レーダー波を受信すると約30秒後に音が小さくなります。



詳細 オートトーンダウン機能(30ページへ)

《ステルスマード動作》

「ステルスマードを受信しました。 ”ピコピコピコピコピコ……” 」



ステルスマードの受信によるステルスマードは、その性質上距離的余裕をもってお知らせできません。ステルスマードが鳴った時にはすでに計測されていることがありますので、くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

カーロケーター受信機能

カーロケーターの電波を受信して、警察関係車両などの接近をお知らせします。お車を中心として、半径約1キロ以内(Hi)と、半径約500m以内(Lo)の2段階で受信範囲(感度)を切り替える事ができます。

また、連続して受信した場合、警察関係車両が最接近している可能性があると判断しニアミスマラームでお知らせします。

○カーロケーター受信・感度切替え方法

カーロケーター受信・感度切り替え方法は「⑦L/ROAD・POINTボタン」で行います。

1. 「⑦L/ROAD・POINTボタン」を押すと「ピッ」と鳴り「⑪フラッシュモニター」で現在の設定を表示します。

2. 「⑪フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑦L/ROAD・POINTボタン」を押して設定を切り替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定状態をアナウンスします。

「⑪フラッシュモニター」	設定状態	ボイスガイド
点灯	ON(感度Hi)	「カーロケを設定しました」
速い点滅	ON(感度Lo)	「カーロケを設定しました」
ゆっくりな点滅	OFF	「カーロケを解除しました」

*工場出荷時は「Hi」に設定されています。

○カーロケーター受信動作

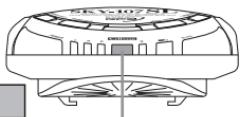
カーロケーターを受信するとアナウンスし「⑪フラッシュモニター」がフラッシング(速い点滅)を行います。また、連続受信時にはニアミスマラームで、お知らせします。

①カーロケーターを受信する
「”ピンポーン” カーロケを受信しました。
1キロ(500m)以内、緊急車両に注意してください。」
※「Hi」に設定は1キロ、「Lo」は500mとアナウンスします。

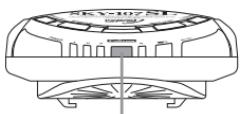
②連続して、カーロケーターを受信(ニアミスマラーム)
「”ピンポーン、ピンポーン” カーロケを受信しました。」



「⑦L/ROAD・POINTボタン」



「⑪フラッシュモニター」



「⑪フラッシュモニター」



カーロケーターの電波を受信した時は、周囲に注意し、警察関係車両が近くを走行していた場合には、走行を妨害することなく、速やかに道をお譲りください。

基本操作(つづき)

350.1MHz受信機能

○350.1MHz受信「ON/OFF」設定方法

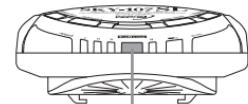
350.1MHz受信「ON/OFF」設定は、「⑤RADAR/N・350.1ボタン」で行います。

1. 「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を「ピーピッ」と鳴るまで約5秒間押すと、「⑯フラッシュモニター」で現在の設定を表示します(約3秒間)。



「⑤RADAR/N・350.1ボタン」

2. 「⑯フラッシュモニター」で約3秒間の表示中に「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を押して設定を切り替えます。押すたびにランプの表示が変わり約3秒後に設定状態をアナウンスします。



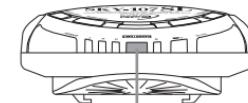
「⑯フラッシュモニター」

「⑯フラッシュモニター」	350.1MHz受信	ボイスガイド
点灯	ON	「350.1メガを設定しました。」
点滅	OFF	「350.1メガを解除しました。」

※工場出荷時は「ON」に設定されています。

○350.1MHz受信動作

350.1MHzを受信すると、「⑯フラッシュモニター」がフラッシングし、受信した音声が聞こえます。

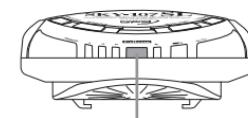


●受信動作

『…<受信音声>…』「”ピポボ” 350.1メガを受信しました。」

バリケードアラーム

各種情報により周囲で検問などが行われている可能性が高いと判断した場合に、「⑯フラッシュモニター」のフラッシングとアナウンスでお知らせします。



●バリケードアラーム

「ピンポーン、ピンポーン、ピンポーン、緊急車両に注意してください。」

GPS警告

GPS警告動作

本機に登録されている取締り位置データをもとに、最大2キロ手前から警告します。

○取締りポイント<登録件数 約800箇所>

※取締りポイントの警告が「OFF」に設定されている場合は、警告しません。

工場出荷時は「ON」に設定されています。

詳細 取締りポイントの「ON／OFF」設定方法(21ページへ)

●警告動作

《アナウンス》

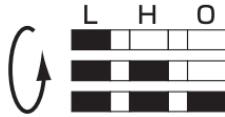
取締りポイントの約1キロ圏内で、最大3回アナウンスします。

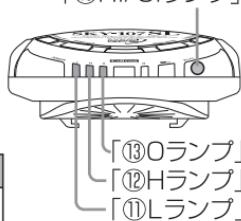
「”ポーン”高速道、取締りポイントに注意してください。」

「⑩Hi/Ciランプ」

《ランプの表示》

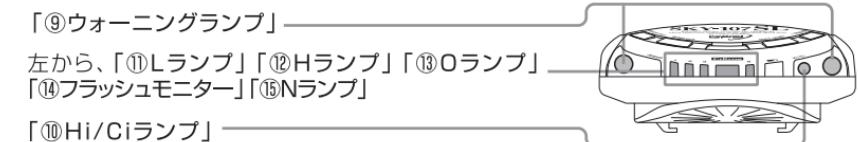
「⑩Hi/Ciランプ」は2回赤色点滅をし、合わせて「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」「⑬Oランプ」が、左から順に3回点滅を繰り返します。

「⑩Hi/Ciランプ」「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」「⑬Oランプ」			
Hi/Ci 	L	H	O
2回点滅の繰り返し	 左から順に3回点滅の繰り返し		



○速度取締機<登録件数 約660箇所>

速度取締機の約2キロ手前(一般道は1キロ手前)から3ステップGPS警告でお知らせします。



《警告時の「⑩Hi/Ciランプ」点滅色》

「⑩Hi/Ciランプ」は、GPS警告の対象道路を標示します。

設置道路	「⑩Hi/Ciランプ」
高速道(Hi)	赤色点滅
一般道(Ci)	緑色点滅

GPS警告(つづき)

GPS警告動作(つづき)

●3ステップGPS警告動作例(高速道、ループコイルの場合)

《アナウンスとブザー音》

※ [] は、速度取締機により異なります。下記表を参照してください。

①「"ポーン" 2キロ先、高速道、ループコイル (速度取締機名称) に注意してください。」
※一般道、記録ポイントの場合は、1キロ手前からアナウンスします。

②「"ポーン" 1キロ先、高速道、ループコイル (速度取締機名称) に注意してください。」

③"ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…"

※速度取締機位置までお知らせします。

取締機から遠い → 取締機から近い

《ランプの表示》

※ [] は、速度取締機により異なります。下記表を参照してください。

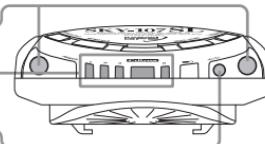
①「⑩Hi/Ciランプ」は2回点滅をし、合わせて
「⑪Lランプ」、「⑭フラッシュモニター」が
フラッシング(速い点滅)を行います。

②①の内容と、合わせて「⑨ウォーニングランプ」が点滅します。

③①の内容と、合わせて速度取締機位置まで「⑨ウォーニングランプ」が点滅します。
「⑨ウォーニングランプ」

左から、「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」「⑬Oランプ」
「⑭フラッシュモニター」「⑮Nランプ」

「⑩Hi/Ciランプ」



●速度取締機名称と、点滅ランプ(実際にアナウンスされる名称と、点滅するランプです。)

速度取締機名称	表示ランプ	
N Hシステム	「⑫Hランプ」「⑮Nランプ」	—
L Hシステム	「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」	「⑭フラッシュモニター」
ループコイル	「⑪Lランプ」	「⑭フラッシュモニター」
Hシステム ※1	「⑫Hランプ」	—
オービス	「⑬Oランプ」	—
記録ポイント ※1	「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」 「⑬Oランプ」「⑮Nランプ」	—

※1:新Hシステムは「Hシステム」、ユーザーメモリーポイントは「記録ポイント」とアナウンスします。

GPS警告(つづき)

GPS警告動作(つづき)

○可变式速度取締機識別

可変式速度取締機を識別して、3ステップGPS警告でアナウンスします。
※可変式に対してのランプ表示はありません。

《アナウンス》(一般道、可変式ループコイルの場合)

「**ポン**」1キロ先、一般道、可変式、ループコイル(速度取締機名称)に注意してください。|

※ は、速度取締機により異なります。

○トンネル出口取締機の警告

トンネル出口付近に速度取締機が設置してある場合には、トンネル入口から約1キロ手前の間または、トンネル内でお知らせします。

※GPSの測位状態によっては、お知らせできない場合があります。ご注意ください。

《アナウンス》

「”ポン”高速道(一般道)、トンネル出口、(可変式)
リーコイル(速度取扱機名称)に注意！／ばさい！」

※ は 速度取締機により罷なります。

※表示ランプは、速度取締機の警告と同様の点滅です。



○GPS回避ボイス

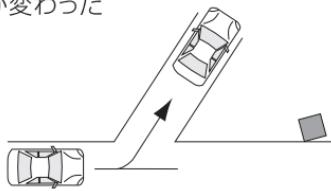
速度取締機手前からのGPS警告中に進行方向が変わった場合には、回避ボイスでお知らせします。

※GPSの測位状態によっては、お知らせできない場合があります。ご注意ください。

※ポイントまで約400m以内での回避に対しては
回避ボイスは行いません。

《アナウンス》

「”ローン”取締機を回避しました。」



オートトーンダウン機能

GPS警告のブザー音やレーダー波受信によるブザー音を、鳴りはじめてから約30秒後に、自動的に音量を小さくします。

※設定は不要です。

Nシステム

Nシステムの警告

本機に登録されているNシステム位置データをもとに、約500m手前でお知らせします。

○Nシステム警告の設定方法

Nシステム警告のON/OFF操作は「⑤RADAR/N・350.1ボタン」で行います。

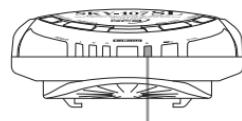
1. 「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を「ピピッ」と鳴るまで約2秒間押すと、現在の設定状態を「⑯Nランプ」で表示します。
2. 「⑯Nランプ」で、約3秒間の表示中に「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を押して設定を切り替えます。押すたびにランプの表示が変わり、約3秒後に設定をアナウンスします。

「⑯Nランプ」	設定状態	ボイスガイド
点灯	「ON」	「Nシステムを設定しました。」
点滅	「OFF」	「Nシステムを解除しました。」

※工場出荷時は、Nシステム警告「ON」に設定されています。



「⑤RADAR/N・350.1ボタン」



「⑯Nランプ」

○Nシステム<登録件数 約1650箇所>

Nシステムの約500m手前から、アナウンスと「⑯Nランプ」「⑩Hi/Ciランプ」でお知らせします。

※Nシステムの警告は、GPS機能が「ON」の時のみ警告します。

《アナウンス》

「”ポン”500m先(500m以内)、高速道(一般道)、Nシステムに注意してください。」

《ランプの表示》

「⑩Hi/Ciランプ」は設置道路を表示し、合わせて「⑯Nランプ」が速い点滅を繰り返します。



「⑩Hi/Ciランプ」



「⑯Nランプ」

Nシステム

Nシステムの警告

便利機能

ユーチャーメモリー機能

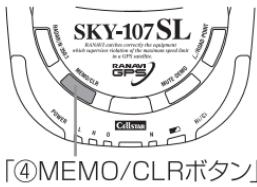
新規にお知らせさせたいポイントを、最大31箇所まで、記録することができます。
※GPS機能を「ON」に設定している場合に限ります。

○ユーチャーメモリーの記録方法

ユーチャーメモリーの記録方法は「④MEMO/CLRボタン」で行います。

1. 「④MEMO/CLRボタン」を押すと「ピッ」と鳴り、記録を始めます。

※GPS測位していない場合『GPSを測位できません。』とアナウンスし、記録はできません。



「④MEMO/CLRボタン」

2. ポイントが記録されると『記録しました』とアナウンスします。

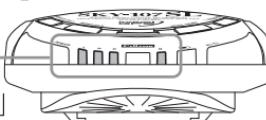
※記録できなかった場合は、『記録できません』とアナウンスします。

○ユーチャーメモリー警告内容

記録ポイントの約1キロ手前から、アナウンスとブザー音、「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」「⑬Oランプ」「⑭Nランプ」の同時点滅でお知らせします。

左から

「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」「⑬Oランプ」「⑭Nランプ」



《アナウンスとブザー音》

- ①「ポーン」1キロ先、記録ポイントに注意してください。」

- ②「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…」
※記録ポイントまでお知らせします。



注意

ユーチャーメモリーの記録ポイントは、GPS測位が確定した地点を記録します。走行状況によって、操作したポイントから大きくずれる場合がありますのでご注意ください。より正確にポイントを記録したい場合には、お車を停車させて記録操作を行ってください。



注意

ユーチャーメモリーの記録ポイントは、進行方向を識別して記録されます。記録した時の反対方向からの走行時には警告しませんので、ご注意ください。

便利機能(つづき)

ユーチャーメモリー機能(つづき)

○ユーチャーメモリーの消去方法

●個別消去

ユーチャーメモリーの個別消去は「④MEMO/CLRボタン」で行います。

**消去したいユーチャーメモリーの
警告中に操作を行います。**

1. 「④MEMO/CLRボタン」を約2秒間押します。
2. 消去が完了すると『消去しました』とアナウンスします。

●全消去

ユーチャーメモリーの全消去は「⑩POWERスイッチ」と「④MEMO/CLRボタン」で行います。

1. 「④MEMO/CLRボタン」を押したまま「⑩POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にして電源を入れます。この時、「④MEMO/CLRボタン」は、電源が入ってからも約10秒間押しつづけます。



2. 電源が入ると『記録ポイントに注意してください』を繰り返しアナウンスし、「⑩Hi/Ciランプ」が赤色・緑色点灯を交互に繰り返します。

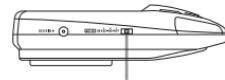
3. 『消去しました』とアナウンスしたら「④MEMO/CLRボタン」を離してください。



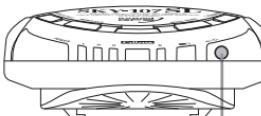
「④MEMO/CLRボタン」



「④MEMO/CLRボタン」



「⑩POWERスイッチ」



「⑩Hi/Ciランプ」



注 意 ユーチャーメモリーは、一度消去するとデータを復元させる事はできません。
消去操作は十分に注意して行ってください。



注 意 記録箇所が記録可能数(最大31箇所)を超えてしまった場合には、記録箇所の中で、最後に記録したポイントを繰り返し上書きし、記録します。

便利機能(つづき)

レーダーキャンセルメモリー機能

レーダー警告のブザー音を、半径約200m圏内でキャンセルさせる事ができます(最大20箇所記録可能)。記録したエリア内でレーダー波を受信した場合、ウォーニングランプが2回点滅を繰り返します。

※GPS機能を「ON」に設定している場合に限ります。

※記録したポイントから半径約200mのエリア内において、全てのレーダー波受信ブザー音をキャンセルします。

○レーダーキャンセルメモリーの記録方法

レーダーキャンセルメモリーの記録方法は「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

消去したいレーダー波の警告中に操作を行います。

1. 「⑥MUTE・DEMOボタン」を約2秒間押します。

※GPS測位していない場合『GPSを測位できません。』と
アナウンスし、記録はできません。



「⑥MUTE・DEMOボタン」

2. 記録されると『記録しました。』とアナウンスします。

※記録できなかった場合は『記録できません。』とアナウンスします。

○レーダーキャンセルメモリーの消去方法

●個別消去

レーダーキャンセルメモリーの消去方法は「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

記録エリア内(ウォーニングランプの2回又は3回
点滅中)に操作を行います。

1. 「⑥MUTE・DEMOボタン」を約2秒間押します。

※GPS測位していない場合『GPSを測位できません。』と
アナウンスし、消去はできません。



「⑥MUTE・DEMOボタン」

2. 記録されると『記録しました。』とアナウンスします。

※消去できなかった場合は、『記録できません。』とアナウンスします。

便利機能(つづき)

レーダーキャンセルメモリー機能(つづき)

●全消去

レーダーキャンセルメモリーの全消去は「⑩POWERスイッチ」と「⑤RADAR/N・350.1ボタン」で行います。

- 1.「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を押したまま「⑩POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にして電源を入れます。この時、「⑤RADAR/N・350.1ボタン」は、電源が入ってからも約10秒間押しつづけます。



- 2.電源が入ると『取締りポイントに注意してください。』を繰り返しアナウンスし、「⑧POWERランプ」が赤色と緑色に交互点灯します。

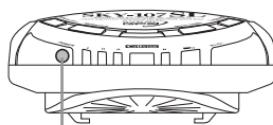
- 3.『消去しました』とアナウンスしたら「⑤RADAR/N・350.1ボタン」を離してください。



「⑤RADAR/N・350.1ボタン」



「⑩POWERスイッチ」



「⑧POWERランプ」



注
意

レーダーキャンセルメモリーの記録エリアは、GPS測位が確定した地点を記録します。走行状況によって、操作したエリアから大きくずれる場合がありますのでご注意ください。より正確に記録したい場合には、お車を停車させて記録操作を行ってください。



注
意

記録箇所が記録可能数(最大20箇所)を超えてしまった場合には、記録箇所の中で、最後に記録したポイントを繰り返し上書きし、記録します。



注
意

レーダーキャンセルメモリーは、一度消去するとデータを復元させる事はできません。消去操作は十分に注意して行ってください。

便利機能(つづき)

GPS警告ポイント消去機能

本機に登録されている、取締りポイント・速度取締機・NシステムのGPS警告を消去する事ができます(全ての登録位置データについて可能)。

※GPS機能を「ON」に設定している場合に限ります。

○GPS警告ポイント消去の記録方法

GPS警告ポイント消去の記録方法は「④MEMO/CLRボタン」で行います。

※ユーザーメモリーの消去方法と同じ操作になります。

消去したいポイントのGPS警告中に操作を行います。

1. 「④MEMO/CLRボタン」を約2秒間押します。
2. 記録されると『消去しました。』とアナウンスします。
※『記録できません。』とアナウンスした場合は、記録できなかった事をお知らせします。



「④MEMO/CLRボタン」

○GPS警告ポイント消去の全復帰方法

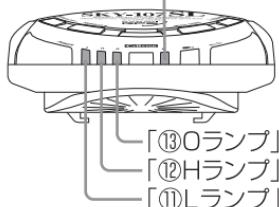
GPS警告ポイント消去の全復帰方法は「⑩POWERスイッチ」と「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

1. 「⑥MUTE・DEMOボタン」を押したまま「⑩POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にして電源を入れます。この時、「⑥MUTE・DEMOボタン」は、電源が入ってからも約10秒間押しつづけます。「⑥MUTE・DEMOボタン」



「⑩POWERスイッチ」
「⑯Nランプ」

2. 電源が入ると『オービスに注意してください』を繰り返しアナウンスし、「⑪Lランプ」「⑫Hランプ」「⑬Oランプ」「⑭Nランプ」が点灯します。



3. 『消去しました』とアナウンスしたら「⑥MUTE・DEMOボタン」を離してください。

便利機能(つづき)

ミュート機能

警告中のブザー音や、カーロケーターの受信アナウンスを一時的にミュート(消音)する事ができます。また、受信が終わると、自動的に復帰します。

※各ランプの表示は行います。

※カーロケーターの場合、最後の受信から約2分以上カーロケーター受信がなくなった時自動的にミュートを解除します。

○レーダー波

「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

ブザー音が鳴っている間に操作を行います。

1.「⑥MUTE・DEMOボタン」を押します。

2.ブザー音がレーダー波の受信が無くなるまでミュート(消音)されます。

※ブザー音のミュート中に、再度「⑥MUTE・DEMOボタン」を押すと、復帰します。



「⑥MUTE・DEMOボタン」

○カーロケーター

「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

カーロケーター受信のアナウンス中に操作を行います。

1.「⑥MUTE・DEMOボタン」を押します。

2.受信が約2分間無くなるまでミュート(消音)されます。

※アナウンスのミュート中に、再度「⑥MUTE・DEMOボタン」を押すと、復帰します。



「⑥MUTE・DEMOボタン」

便利機能(つづき)

オートディマー機能

本機ソーラーパネル部に当たる太陽光が少ない時、ランプの点灯を自動的に暗くします。

※設定は不要です。

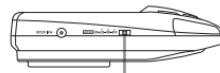
DC動作モード機能

DCコードを使用して本機をお使いの場合、お車のキー操作に連動して電源を「ON/OFF」する機能です。

○DC動作モード機能の「ON/OFF」設定方法

DC動作モード機能の「ON/OFF」設定方法は「⑩POWERスイッチ」と「⑤RADAR/N・350.1ボタン」「⑦L/ROAD・POINTボタン」で行います。

1. 「⑤RADAR/N・350.1ボタン」「⑦L/ROAD・POINTボタン」を押したまま 「⑤RADAR/N・350.1ボタン」
2. 「⑩POWERスイッチ」を「ON」(または 「ON・LSC」)にします。



3. 電源が入ると、設定をアナウンスします。

「⑩POWERスイッチ」

DC動作モード機能	ボイスガイド
ON	「"ポン"設定しました。」
OFF	「"ポン"解除しました。」

※「OFF」に設定する場合は、DC動作モードで動作している時のみ、行う事が出来ます。

※操作を行なうたびに「ON」↔「OFF」と切替わります。

※工場出荷時は「OFF」に設定されています。

⚠ ご注意ください

DC動作モード機能が「ON」に設定の場合、DC12Vの入力があるまで本機は動作しません。ご注意ください。

※お車のキーが「ACC」や「ON」以外など、DC12Vの入力がない場合は本機の電源は入りません。

<DC動作モード機能の確認方法>

DC12Vが入力されていない状態で「⑩POWERスイッチ」を「ON」にします。本機より「充電をしてください。注意してください。」と鳴り、直後に電源が「OFF」になります。この場合、DC動作モード機能が「ON」に設定されています。

便利機能(つづき)

デモンストレーション機能

本機の警告動作を、デモンストレーションさせる事ができます。

○デモンストレーション方法

デモンストレーションは「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

※設定状態により、警告動作は変わります。

警告がされていない状態で操作を行います。

1. 「⑥MUTE・DEMOボタン」を押します。

以下の順番でデモンストレーションを行います。



「⑥MUTE・DEMOボタン」

①取締りポイントの警告(一般道)

②速度取締機の3ステップGPS警告(高速道、可変式、ループコイル)

③GPS回避ボイス

④Nシステムの警告(一般道)

⑤カーロケーター受信動作(感度:「Hi」)

⑥350.1MHz受信動作

⑦ステルスマップアラーム

⑧レーダー警告

※デモンストレーションは、アナウンス・ブザー音・アラーム・ランプの点灯で各種警告・受信動作を行います。

※デモンストレーション中に、再度「⑥MUTE・DEMOボタン」を押すとデモンストレーションは中止されます。

※GPS機能を「OFF」に設定している場合、①～④のデモンストレーションは行われません。

※Nシステムを「OFF」に設定している場合、④のデモンストレーションは行われません。

※カーロケーター受信を「OFF」に設定している場合、⑤のデモンストレーションは行われません。

※350.1MHz受信を「OFF」に設定している場合、⑥のデモンストレーションは行われません。

※デモンストレーション中は、GPS警告やレーダー警告を行いません。

※デモンストレーション中は、カーロケーターや350.1MHzは受信しません。

便利機能(つづき)

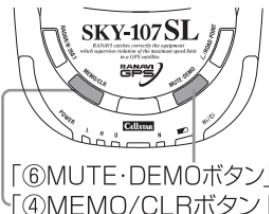
本機の全リセット

この操作を行うと、各種設定や記録内容は全て消去され、工場出荷状態に戻ります。
※記録内容にはユーザーメモリー、GPS警告ポイント消去、レーダーキャンセルメモリーの各記録データが含まれます。

○リセット方法

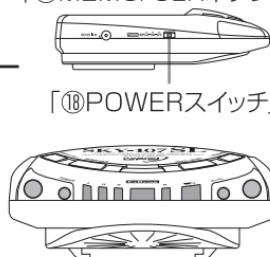
リセット方法は「⑩POWERスイッチ」と「④MEMO/CLRボタン」「⑥MUTE・DEMOボタン」で行います。

1. 「④MEMO/CLRボタン」「⑥MUTE・DEMOボタン」を押したまま「⑩POWERスイッチ」を「ON」(または「ON・LSC」)にして、電源を入れ、そのまま「④MEMO/CLRボタン」「⑥MUTE・DEMOボタン」は、電源が入ってからも約10秒間押しつづけます。



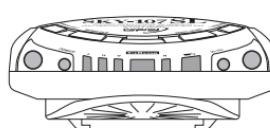
「⑩POWERスイッチ」
「⑥MUTE・DEMOボタン」
「④MEMO/CLRボタン」

2. 電源が入ると『危険です。』を繰り返しアナウンスし全てのランプが点滅します。



「⑩POWERスイッチ」

3. 『消去しました。』とアナウンスしたら「④MEMO/CLRボタン」「⑥MUTE・DEMOボタン」を離してください。



工場出荷状態

GPS機能	ON
取締りポイントの警告	ON
Nシステムの警告	ON
GPS警告対象道路機能	ALL
レーダー波受信感度	オート
カーロケーター受信	ON
カーロケーター受信感度	Hi
350.1MHz受信	ON
DC動作モード機能	OFF
その他記録データ	消去



注
意

リセットを行うと、各設定や記録内容を復元させる事はできません。リセット操作は十分に注意して行ってください。

MEMO

MEMO

便利機能

MEMO

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

故障かな?と思ったら

症状	チェック内容	参照ページ
電源が入らない	オートパワー機能は正しく設定されていますか。 DC動作モードは「ON」に設定されていませんか。	23 38
コードレス使用状態	内蔵バッテリーの残量はありますか。	17
DCコード使用状態	DC12Vは入力されていますか。	17
電源が切れない	オートパワー機能は「ON」になっていますか。 ムービングセンサーは正しく設定されていますか。	23 22
充電されない		
コードレス使用状態	ソーラーパネルに太陽光が適切に当たっていますか。	16
DCコード使用状態	DC12Vは入力されていますか。	17
GPSを受信しない	GPS機能は「ON」になっていますか。 GPS信号は受信可能ですか。 DCコードを使用して、充電しながらGPS測位してください。	20 13,20 14
コードレス使用状態	内蔵バッテリーの残量はありますか。	17
GPS警告がない	GPS機能は「ON」になっていますか。 GPS信号は受信可能ですか。 新設の速度取締機の可能性があります。 GPS警告対象道路の設定は正しいですか。 GPS警告ポイント消去機能は設定されていますか。	20 13,20 45 21 36
取締りポイントのGPS警告をしない	取締りポイントのGPS警告は「ON」に設定されていますか。 本機に登録されていないポイントの可能性があります。	21 45

故障かな?と思ったら(つづき)

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	チェック内容	参照ページ
NシステムのGPS警告をしない	NシステムのGPS警告は「ON」になっていませんか。 新設のNシステムの可能性があります。	31 45
何もないのにレーダー警告をする	速度取締機と同じ電波が他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告をする場合があります。 これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 同じ電波を使用している機器例 ・自動ドアの一部 ・車両通過計測器 ・NTTの通信回線の一部 ・気象用、航空機用などのレーダーの一部	
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。 反対方向から走行していませんか。	32 32
ハイブリッド型L.S.C.機能が働かない	ハイブリッド型L.S.C.機能は「ON」になっていますか。 ムービングセンサーの設定は正しいですか。	22 22
カーロケーターを受信しない	受信設定が「OFF」になっていますか。 カーロケーターシステムは車両から常に電波を出しているわけではありません。 カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。	26 5 5
350.1MHzを受信しない	受信設定が「OFF」になっていますか。 350.1MHzは常に使用されていません。	27 5

故障かな?と思ったら

アフターサービスについて

保証について

○保証書(別途添付)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

○保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき(保証書に販売店名、日付印がないと無効になります)
おそれりますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まことに相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

データ更新について

本機レーナビ・ソーラーは取締りポイント、速度取締機、Nシステムの最新位置データを使用して製造を行っていますが、新設の速度取締機やNシステムがあった場合、そのデータを反映させた登録データに更新することができます。(有料)

データの更新をご希望される場合は、お買い求めになられた販売店、当社カスタマーセンターまでご依頼ください。データの更新時期は1年2回を目安にしていますので、ご依頼された時の最新の当社作成データを使用し更新作業後、返却いたします。この場合、工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

データ更新を依頼される場合

更新料¥5,250(税込)と、送料が別途必要です。

アフターサービスについて(つづき)

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い。

本機で警告できない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁に行われるエリア、追尾取締りの目撃情報などがございましたら、弊社カスタマーセンターまたは、e-メール等でお知らせ頂けますようお願い致します。

カスタマーセンター **0120-75-6867**

(携帯電話・PHSよりおかけの方は、TEL.046-275-6867)

e-メール : rnavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

※携帯電話等からe-メールでの情報提供をして頂き、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jpをドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

にア
フフ
いタ
てー
サ
ビ
ス

各地のお客様相談窓口一覧

- 北 海 道 地 区
北海道セルスター工業株式会社 TEL.011-882-1225(代) FAX.011-881-7251
〒004-0843 札幌市清田区清田三条1-3-1
- 東 北 地 区
セルスター工業(株)仙台営業所 TEL.022-218-1100(代) FAX.022-218-1110
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
- 関 東 地 区
セルスター工業(株)関東営業所 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32
- 中 部 ・ 北 陸 地 区
中部セルスター工業株式会社 TEL.0583-70-6325(代) FAX.0583-70-6328
〒509-0131 岐阜県各務原市つつじが丘8-161-1
- 関 西 ・ 中 国 ・ 四 国 地 区
関西セルスター工業株式会社 TEL.0727-22-1880(代) FAX.0727-22-5575
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
- 九 州 地 区
九州セルスター工業株式会社 TEL.092-552-5252(代) FAX.092-552-5300
〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目1-11-8
- セルスター工業株式会社
カスタマーセンター フリー電話 0120-75-6867 TEL 046-275-6867
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32

●名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

仕様・定格

GPS受信部

受信周波数：1575.42MHz(L1)、C/Aコード

受信方式：16chパラレル受信

受信感度：-141dbm以下

レーダー受信部

受信方式：ダブルスーパーへテロダイン方式

受信周波数：Xバンド／Kバンド

レシーバー部

受信方式：ダブルスーパーへテロダイン方式

受信周波数：407MHz帯／350.1MHz

本体

内蔵バッテリー容量：500mAh

電源電圧：DC3.6V 内蔵バッテリー

DC12V DCコード

動作温度範囲：-10°C～+65°C

消費電流：待機時2mA以下(GPS／レシーバー部OFF)
最大200mA以下

本体サイズ／重量：77(W)×115(D)×33(H)mm／190g

※改良等の為、本機の仕様・定格などを変更する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

付属品 ※ご使用の前に、ご確認ください。

- 本体×1
- マウントベース×1
- 吸盤(フロントガラス取付用)大×2
- ゴムブッシュ×1
- DCコード×1
- ダッシュボード取付用両面テープ×1
- 注意書×2部
- 保証書×1部
- 取扱説明書(本書)×1部

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した古紙
100%再生紙および大豆油インクを使用しております。



R100

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CellSTAR セルスター工業株式会社

本社 / 〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106

PP-D224MN-A 2004.9